

【研修報告】

令和5年度 相談支援従事者 現任研修

○E ラーニング(動画視聴と振り返り評価シート記入) : 11月14日～11月21日

- ・ 障害者総合支援法及び児童福祉法等の現状
- ・ 本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティワークの理論と方法
 - ・ 意思決定支援に着目した個別相談支援
 - ・ 多職種連携及びチームアプローチ
 - ・ 地域を基盤としたソーシャルワーク
 - ・ 実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法

○事前課題 (事例報告、自立支援協議会の状況)

○課題提出

○前期 講義・演習「個別相談支援とケアマネジメント」 : 12月12日

- ・ 講義：相談支援のプロセスや意思決定支援の展開のポイント

医療法人全隆会 指宿ライフサポート 上田繁之 氏

- ・ 個人ワーク (セルフチェック)

演習 (事例報告・検討) グループに分かれて (6名、ファシリテーター)

- ・ 意思決定支援の展開の確認と検討課題の対応について検討
- ・ 個別相談支援の能力の向上を図る
- ・ 課題説明

○事前課題 (利用者を取り巻く地域の資源調査、ニーズの整理表追記)

○課題提出

○中期 講義・演習「相談支援に求められるチームアプローチ(多職種連携)」: 1月22日

- ・ 講義：チームアプローチ (多職種連携)

社福法人 真奉会 相談支援事業所ほっと 深川弥寿代 氏

- ・ 個人ワーク (セルフチェック)

演習 (事例報告・検討)

- ・ チームアプローチの確認と検討課題の対応
- ・ チームアプローチの能力の向上を図る
- ・ 課題説明 (インターバル報告と次回の課題説明)

○事前課題（自立支援協議会の課題など聞き取り）

○後期 講義・演習「スーパービジョン」「コミュニティワーク」：2月20日

- ・講義：人材育成のためのスーパービジョン 考え方と進め方

社福法人 愛誠会 相談支援事業所星の園 潤 俊司 氏

- ・演習（模擬検討 GSV）

- ・ サービス支援ではなく、その人の生活を支援する
- ・ 提案したことが解決しなくても地域の課題としての気づきと視点を広げる

- ・ 講義：まとめ

- ・ 講義：地域をつくる相談支援（コミュニティワーク）の実践

社福法人 愛誠会 相談支援事業所星の園 潤 俊司 氏

- ・ 演習（地域アセスメント）

- ・ 講義：自立支援協議会への展開

- ・ 演習（インターバルの振り返り）

- ・ 演習（地域支援の展開Ⅰ）

- ・ 演習（地域支援の展開Ⅱ）

- ・ 全体のまとめ

意思決定支援：意思決定に困難を抱える人が、日常生活や社会生活等に関して自分がしたい意志が反映された生活を送ることが可能となるよう支援すること

- ① 本人の意向を無視していないか
- ② 本人の言葉の意味を吟味しているか
- ③ 支援者の都合が優先されていないか
- ④ 既存の社会的資源だけが支援の前提となっていないか
- ⑤ 先に支援者の結論ありきで話しを進めていないか

チームアプローチ（多職種連携）

地域生活を支えるということは、多職種、多領域による関わりが必要。専門性や立場が異なると視点やできることが異なる。ニーズの捉え方、支援の方法、価値観が違うことを認めてチームで関わる必要がある。

なぜGSV

相談支援専門員は、経験を積み重ねても自己の振り返りが必要な業務だが、自らの支援について他者から助言・指導を受ける機会が少ない。GSVを業務として位置づけることで、支援の幅や深さが広がり、一人で抱え込まず支援者支援の場となり人材育成の効果が高い。また、体制やシステムを検討して地域の課題として共有して自立支援協議会に提案していく。